



下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 7. 2

下水道機構の『新技術情報』 第51号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>



今日、7月2日は、「一年の折り返しの日」で、一年のちょうど真ん中の日になるそうです。2012年ももう半年が過ぎたのですね。年々と時が経つのが早く感じられるようになりました。今日はとても蒸し暑いですが、半年後の冬に想いを馳せて涼をとるとします。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第51号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

■□■□トピックス■□■□■

★インフォメーション

- ・6月26日(火)に当機構の第46回理事会、翌27日(水)に第36回評議員会を開催しました
- ・技術マニュアル活用講習会7月20日(金)東京を開催します！

★機構の動き

- ・7月1日付で人事異動がありました

★Tea Break

- ・夜の散歩 (資源循環研究部 長沢さんからの投稿です)

★【新コーナー♪】まる子のゆいまーる

- ・6月いっぱい機構を卒業した前研究第二部亀谷主任研究員よりメッセージをいただいています

★国からの情報

- ・6月28日 付け下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話です)

●6月26日(火)に当機構の第46回理事会、翌27日(水)に第36回評議員会を開催しました

今回の主な議案は、平成23年度事業報告・収支決算と新公益法人認定申請関連でした。これらの議案は審議の上、案のとおり議決又は同意がなされました。中でも新公益法人関連の定款の変更の案では、名称を「公益財団法人日本下水道新技術機構」とすることとなりました。今後、理事会、評議員会等において新評議員、新役員の選定等を行い、8月頃には内閣府に公益財団法人への移行申請を行う予定です。平成25年4月の移行登記を目指して各種作業を進めていきます。

※平成23年事業報告及び収支決算は、機構ホームページからご覧いただけます。

→ <http://www.jiwet.jp/summary/industry/>

●技術マニュアル活用講習会 7月 20 日（金）東京を開催します！

当機構が民間と共同研究し、とりまとめた新技術に関するマニュアルや資料を詳しく解説する『技術マニュアル活用講習会』を、7月 20 日（金）13：20～16：40 に東京会場（当機構会議室（江戸川橋））、翌 27 日（金）同時刻に神戸会場（神戸国際展示場（下水道展の併催行事））で開催します。今年度は、管理の効率化等を図る次の 5 つの新技術について、担当技術者がパワーポイント等を使って、内容を詳しく、分かりやすく解説します。

- (1) セラミック平膜を用いた循環式硝化脱窒型膜分離活性汚泥法技術資料
- (2) 下水道用マンホールふたの計画的な維持管理と改築に関する技術マニュアル
- (3) 衝撃弾性波検査法による管路診断技術資料
- (4) 監視システムのリスク等低減への活用に関する技術資料
- (5) 汚泥焼却炉からの N₂O 削減に関する技術資料

当講習会は、土木学会の継続教育（CPD）プログラムにも認定されています。東京、神戸の両会場とも、まだ席に余裕がありますので、ぜひこの機会にご参加いただき、業務等にご活用ください。なお、公共団体の方は無料です。

※講習会の内容、申し込みはこちら → <http://www.jiwet.jp/school/school-05-07.htm>

機構の動き （機構の行事予定です）

●7月 1 日付で人事異動がありました

今回は、1 名の職員が機構を卒業し、新たに 1 名の職員を迎えました！

異動内容は下記のとおりです。

【転入者】（ ）内は、前職です。

研究第二部 総括主任研究員 大西 学((株)東京設計事務所)

【転出者】（ ）内は、異動先です。

研究第二部 主任研究員 亀谷 佳宏((株)東京設計事務所)

●7月 10 日（火）14：30～17：00

第 1 回 汚泥処理技術共同研究委員会

場所：下水道機構 8 階 特別会議室

●7月 10 日（火）15：00～17：00

第 1 回 水処理技術実用化評価委員会 場所：下水道機構 8 階 中会議室

●7月 12 日（木）17：00～18：00

第 306 回 技術サロン 場所：下水道機構 8 階 中会議室

テーマ 「川崎市における平成 24 年度下水道事業の展開」

ゲスト 川崎市上下水道局下水道部下水道計画課長 松川 一貴 氏

参加お申し込みはこちら → <http://www.jiwet.jp/school/school-07-306.htm>

●7月13日（金）11：30～16：00

第1回 管路技術共同研究委員会

場所：（株）福田組 牡丹山研修センター（新潟市東区）

●7月20日（金） 13時20分～16時40分

技術マニュアル活用講習会【東京会場】

場所：下水道機構8階 中会議室

内容：平成23年度作成の技術マニュアル・技術資料（全5件）の説明

●7月27日（金） 13時20分～16時40分

技術マニュアル活用講習会【神戸会場】

場所：神戸国際展示場2号館2階2B会議室（下水道展の併催行事）

内容：平成23年度作成の技術マニュアル・技術資料（全5件）の説明

※技術マニュアル講習会【東京会場・神戸会場】のお申し込みはこちら

→ <http://www.jiwet.jp/school/school-05-07.htm>

Tea Break （機構職員の感じるまま）

●夜の散歩 （資源循環研究部 長沢さんからの投稿です）

昨年からはメタボ検診に引っかかり特定保健指導で万歩計を持たされています。

機構の帰りに歩数を確認して、目標歩数をクリアする経路を考えます。江戸川橋から飯田橋まで歩くことが多いですが、飽きると裏道に入ったり、神楽坂方面まで迂回したりしています。

今年は、目標歩数を増やしたので、歩数が少ないときは、東を目指して歩き始めます。東京ドーム周辺を歩いて秋葉原から上野あたりの山手線にぶつかるまで歩きます。かなり歩き応えがあります。また、徳川慶喜の屋敷跡などちょっとした発見があるのが楽しいです。最近、神社に茅の輪が飾っています。ネットで調べると、夏越の大祓い（なごしのおおはらい）と言って、七月の祖霊迎えの前に罪や穢れをお祓いする神事の一つで、8の字に3回茅の輪をくぐってお祓いします。神社を調べて、今まで三ヶ所の茅の輪くぐりをして来ました。歩いて行くので健康に良いし、気分も良いです。

夜に歩くと、余り見るところがないのですが、神田明神、飯田橋の東京大神宮は、9時を過ぎても明かりがついていて、おみくじも引けるのでしばらくしたら立ち寄るつもりです。

まる子のゆいまーる（皆様との交流の場です♪）

●6月いっぱい機構を卒業しました前研究第二部亀谷主任研究員よりメッセージをいただきます

います！

=====

・ご挨拶（前研究第二部主任研究員 亀谷 佳宏）

2010年の10月から研究二部にお世話になりまして、あっという間に1年9ヶ月が経過し、

出向元に戻ることにになりました。

思い返せば下水道機構の仕事を理解する前に自治体への情報収集に連れられ、全国を廻っている間に約2年が経過したような気がします。

機構では、リアルタイム雨水情報ネットワークやマンホール蓋に関するマニュアル等の作成のお手伝いをさせて頂きましたが、それ以外に自治体との共同研究を行い、その合間に自治体を廻っており、達成感より駆け抜けたという気持ちがあります。その間、研究二部のみならず職員全員の方々にご指導頂いたことを感謝しています。

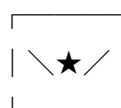
7月からは、出向元である（株）東京設計事務所東京支社下水道グループに戻ります。今後

ともご指導とご鞭撻を承りたいと思います。

約2年弱でしたが、ありがとうございました。

=====

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等はA 4 版にして原則 2 ページ以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション（2012.6.28 付、国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 吉澤正宏



新聞報道等ありましたように、今週（26 日）、日本水大賞の授賞式が行われました。日本水大賞HPから引用して改めてご紹介しますと、日本水大賞は、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる 21 世紀の日本と地球を目指し、水循環系の健全化に寄与することを目的としています。このような活動で、水防災や水資源、水環境、水文化の各分野における諸活動（研究、技術開発を含む）を対象に、優れたものに対して大賞の他、各賞を授与しています。受賞者の活動内容等がHPに紹介されていますので、ご覧ください。

<http://www.japanriver.or.jp/taisyo/index.htm>

さて、4月1日人事異動による下水道部の新しいメンバー紹介も、ようやく今号で最後になります。異動者の多い4月でした。最後を飾りますのは、須藤係員（下水道企画課）、名取研修員（下水道企画課）、松本研修員（下水道事業課）です。

4月より下水道企画課法規係員として参りました須藤千紘と申します。社会人になって3ヶ月、初めての下水道法と業務を覚えるのに四苦八苦しております。6月に行われた人事院の五週間研修では、介護施設や兵庫県加東市役所での業務体験など、有意義な経験をさせて頂きました。このような経験を活かしつつ、早く一人前に仕事が

できるよう努めて参りたいと思いますので、皆様ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。(その第一歩として、下水道部の方の名前と顔を早く覚えたいと思います。)

下水道企画課に、東京都からの研修員として参りました名取と申します。これまでは、6年間東京都の下水道事業に携わり、管路の維持管理、管路工事の設計・積算、基本計画の策定、そして昨年度は交付金に関する調整業務等を担当しておりました。今年度は、企画調整及び国際のラインの業務をさせていただきます。これまでの経験を活かしつつも、新たな気持ちで下水道事業の発展に努めていきたいと思っております。至らぬ点も多いかと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

4月より高知市からの研修員として下水道事業課でお世話になっています松本慎也と申します。課内で土佐弁リクエストがありましたので、以下、土佐弁にてご挨拶させていただきます。(※若干の過大表現、言葉使いはお許してください。)高知市役所でしよった業務は事業計画や会計検査対応等ながです。研修員となり早から3カ月が経つがですけど、職場の皆さまからは、げにまっこと温かく指導してもらいゆうところですよ。ほんで知らんかった事業制度や予算関連を学べゆうき、充実した日々を送れゆうがです。まだまだ慣れんことも多く、ご迷惑をかけることもあるろうと思ひますが、馬車馬のようにこじゃんと仕事を頑張るきよろしくお願ひします。(語句説明：げにまっこと→本当に、こじゃんと→たくさん)

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○「下水道事業の手引 平成24年版」が完成しました【下水道事業課】

●「下水道分野の産官学若手ワークショップ」のご案内【Japan-YWP事務局】

=====

○「下水道事業の手引 平成24年版」が完成しました【下水道事業課】

- (1) 制度変更を詳細に解説、内容もさらに充実！！
- (2) 地域自主戦略交付金が指定都市にも拡充
- (3) 東日本大震災復興交付金を創設

昨年度に社会資本整備総合交付金から一部事業が移行した内閣府所管の「地域自主戦略交付金」は、今年度から都道府県分の対象事業が拡大され、新たに指定都市にも導入されました。

今回発刊する平成24年版では、このような制度変更や震災からの復興を後押しするため創設された「東日本大震災復興交付金」について詳細に解説されています。さらに、下水道関係者が事業を行ううえで知っておくべき事柄についても平成23年版の発刊以降に出された通知等も加えて刷新しています。

http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2012/06/post_43.html

●「下水道分野の産官学若手ワークショップ」のご案内【Japan-YWP事務局】

上下水道・水環境分野の若手組織「ジャパン・ナショナル・ヤング・ウォーター・プロフェッショナルズ (Japan-YWP)」(代表：春日郁朗 東京大学助教)は、標記

